

広域観測モードにおけるATT量変更について

- 海域・沿岸域における広域観測モード画像(HV偏波)において、画像全体にわたって強度が低下する現象を確認。
- 原因はATT量が高めに設定されていたためであり、検証観測により、クロス偏波の受信側ATT設定量を20 dBに変更することで強度低下が解消することを確認した。
- 上述の結果を踏まえ、広域観測モードの全てのクロス偏波の受信側ATT設定量を20dBに変更した。(2018年4月11日)

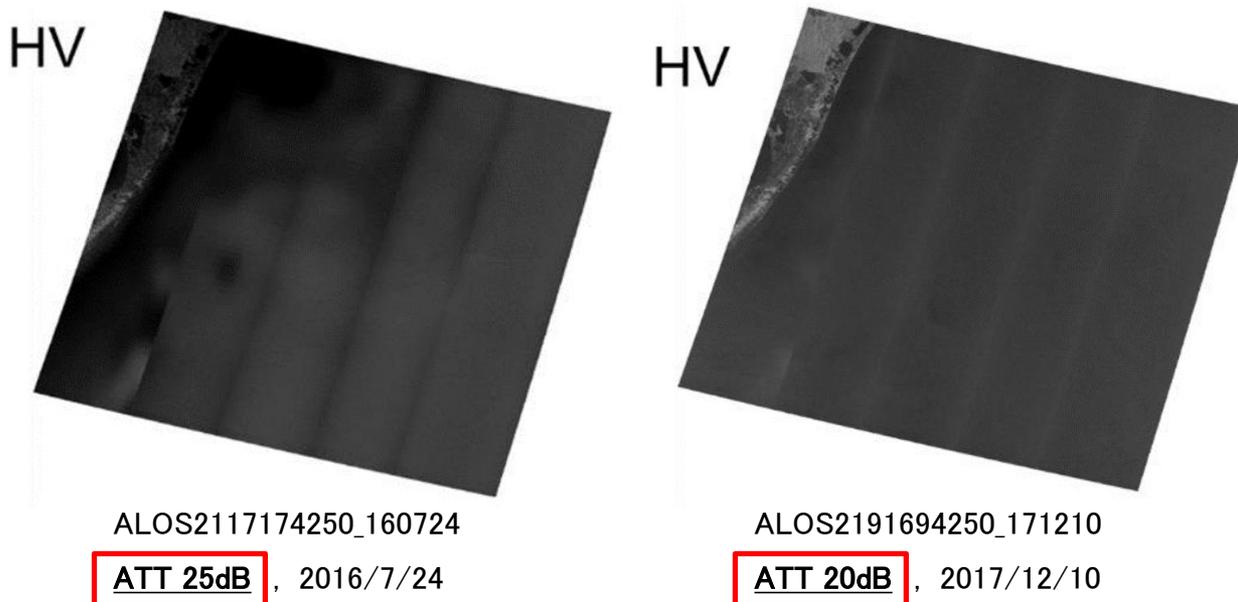


図 L1.5画像のATT量設定変更前後の比較